



5月の夕焼け

■2026年6月の予定表をお送りします。

この夏は高校のインターハイが三段池で開催されることもあり、6月～7月の日曜日はほとんど大会使用や練習試合などで、使えなくなりました。いきおい、長田野コートもなかなか取れなくなり、6月は2回ほどしか全体練習ができません。あしからずご了承願います。

■6/13 共栄での練習会へのおさそい

三段池がなかなか使えなくなってまいりました。6月も大きな大会で、平日も使えない週があります。別紙にご案内しております通り、6月13日(土)に、共栄学園のコートで練習会を企画いたしましたので、よろしければご参加ください。クレー1面で十分な環境ではありませんが、基礎練習は十分できると思います。当日は國田が対応させていただきます。



■T シャツ販売について、多数のお申込みありがとうございました。6月中旬にはお渡しできると思いますので、しばらくお待ちください。

■紫外線・熱中症にも注意!!



練習には多めのドリンク(できればスポーツドリンク)タオルや晴れた日には帽子も準備してください。手洗いがいを励行し、睡眠と食事もしっかり取って、免疫力の低下に注意!

テニスの豆知識

■ソフトテニスの今後と生涯スポーツ

ソフトテニス王国?を目指す福知山ですが、実際のところはどうか聞いてみると、やはり競技人口は減ってきているそうです。まだまだマイナー競技に比べると、中学校の部活動を中心に、ジュニアの人数もたくさんいるようですが、高校ではソフトテニス部も人数が減っております。高校では福知山成美さんが男女ともに全国区でがんばっておられますので、選手の受け皿としてはあるように思うのですが、女子部の顧問に聞くと、なかなか部員集めも苦労しておられるようです。



中学校では全国で30万人いるソフトテニス部員は、高校になると8万人に減ります。(硬式テニスは中学4万人から高校10万人に増えます。)

ソフトテニスの特殊性から、やはり大人になるにつれてソフトテニスを楽しむ環境も少なくなっているようです。そこへいくと硬式テニスは、まだまして、生涯スポーツとしての位置づけは確立しているように思います。

やはりソフトテニスの場合は中学校部活で広がったすそ野を、高校から大学、そして大人の社会につなげられてないことが、一番の課題だと思われます。

福知山をソフトテニスの王国や聖地にするのであれば、大学生や大人が楽しめるような環境整備が必要不可欠だと思います。これは硬式テニスでも言えることですが、大人が楽しんでくれるれば、その子供たちもテニスをやろうと思ってくれるでしょうし、みんなで応援もしてくれると思うのです。マニアックな競技スポーツの側面だけでなく、ファミリースポーツのような、楽しみ方を考える必要があるのでしよう。(ソフトも硬式も)

次の協会の試合はサマージュニア(7月)です。

FJTC福知山ジュニアテニスクラブ (京都共栄学園内)

620-0933 福知山市篠尾62-5 tel.0773-22-6241 <http://www.fjtc.jp>

代表・京都府テニス協会理事 國田 敦・090-3058-5576 Mail: info@kyoei.ed.jp